



令和4年度

南陽中だより

令和5年2月17日発行 第4号
名古屋市立南陽中学校
〒455-0873 港区春田野3丁目121番地
TEL052-301-8981 FAX052-301-2819
<http://www.nanyo-j@nagoya-c.ed.jp/>

【ビブリオバトル】12月9日～17日

ビブリオバトルとは、参加者同士で読みたい本を紹介し合い、もっとも読みたいと思う本を投票で決める催しです。南陽中学校では、この活動を全学年で行っています。クラスの中で勝ち上がったクラスチャンプが体育館で発表をし、そこからさらに選ばれた各学年のチャンプたちが、南陽図書館にて、本の紹介を行いました。この活動を通して、普段あまり本に親しみのない生徒たちも、本に興味をもつきっかけとなりました。



<図書館で本の紹介をする様子>

【コ畑—ション】12月26日(月)

秋に植えた小カブとホウレンソウが、収穫できるまでに育ち、生徒たちは冬休みの寒空の下、一生懸命収穫をしました。そこから、採れた野菜を洗い、春田野にある「おやっこみなど」に寄付をしました。大切に育てた野菜は、そこでおいしい料理に調理していただき、地域の方々に振る舞われました。



<収穫をして、採れた野菜を洗う様子>

【とだがわこどもランドとの話し合い】1月25日(水)

とだがわこどもランドの職員の方々から「とだがわこどもランドをもっとよくするために、中学生の声を是非聞かせてほしい」というお話をいただき、全校生徒から意見を集めました。そして、集まった多くの意見を生徒会執行部で集約をし、職員の方々に伝えるに行きました。予算の面や制度の面で実現が難しいことも多くありましたが、職員の方々に中学生たちの思いを伝えるよい機会となりました。



<とだがわこどもランドで話し合う様子>

【10組校外学習】1月25日(水)

前日の夜に雪が降り、足下がおぼつかない中、10組の生徒たちは、計画していた名古屋港水族館への校外学習に出かけました。バスに乗って移動をしたり、水の生き物をスケッチしたり、昼食の注文を自分で行ったりと、普段の学校生活ではできない体験をし、たくさんのお話を学ぶことができました。



<水の生き物たちを観察する様子>

【令和4年度 学校評価について】

12月に本校の教育活動についてアンケートを行い、400名近くの方々からお声をいただきました。ご協力ありがとうございました。その集計結果をお知らせいたします。なお、数値は4点満点中のポイントです。同じ時期に生徒にも同様のアンケートを行いましたので、保護者の結果と共に、生徒の結果についてもお知らせいたします。

評 価 項 目	1年	2年	3年	保護者
① 学校行事や学年の諸活動に自ら進んで取り組み、楽しんで参加している。	3.36	3.44	3.55	2.97
② (生徒) 学年だよりや家庭への配布物などは、必ず保護者に見せている。 (保護者) 学校だよりや学校・学年の配布物などから、学校行事や学校生活の様子についてその情報を得ている。	3.13	2.88	3.12	2.80
③ 先生たちは、授業に対する生徒の興味・関心、意欲を高めるための工夫をしている。	3.14	3.34	3.65	3.02
④ 授業はわかりやすい	3.28	3.23	3.30	2.85
⑤ (生徒) 自分自身の心身の健康を把握している。 (保護者) 子どもから、学校の様子を聞き、子どもの心身の健康を把握している。	3.18	3.05	3.20	2.53
⑥ (生徒) 学級や学校の雰囲気がよく学校に行くのが楽しい。 (保護者) 子どもは学校へ行くのが楽しそうである。	3.32	3.29	3.39	2.86
⑦ 先生たちは、いじめや生徒の間違った行動・マナーに対してきちんと注意している。	3.19	3.23	3.36	2.81
⑧ 「先生と生徒」、「生徒同士」が好ましい人間関係や信頼関係をもって学校生活を送っている。	3.49	3.44	3.51	2.95
⑨ 先生たちは進路に関する情報(職業選択、高校進学など)を伝え、生徒の立場に立った進路相談を行っている。	3.36	3.51	3.56	2.94

学校行事に関して、今年度も一年を通してコロナ感染症の対策を考えながら活動することになりました。しかし、授業参観や2年生の稲武野外教育学習、保護者参観ありでの体育大会など、昨年度、一昨年度実施できていなかったことを、状況に応じた形で行うことができました。生徒たちは行事を通して、団結力を高めたり、絆を深めたりと、とても充実した時間を過ごすことができました。

学習に関しては、昨年度より全生徒に学習用タブレットが配られ、様々な活動で活用してきました。感染症対策のため、グループ活動が十分にできない中、ロイロノートなどのツールを用いて、自分の意見をまとめたり、意見を共有したりするなど、生徒たちも有効に活用する姿が見られました。しかしながら、タブレット上で全員の意見が見られるメリットがある一方、話し合いをして意見を共有する機会が減ってしまうというデメリットもありました。タブレットの活用方法に関しては、生徒の実態や活動の内容に応じて使用していくことが必要であると考えます。

アンケートの中で特に数値が低かったのが、保護者の方の②と⑤の項目です。学校での様子が生徒から伝えられていなかったり、配布されたプリントが渡ってなかったりと、学校からお伝えしたい情報が、保護者の方に十分に伝わっていない状況が伺えました。今後は、便りをプリントで配布するだけでなく、きずなメールでの配信も平行して行うなどの取り組みを行っていかれたらと考えております。

ここに記載した内容を含めて、アンケート結果を今後にかし、よりよい教育活動に取り組んでいきたいと思っております。今後も、本校の学校教育に、ご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。